

時と場所を選ばない だから 災害は恐ろしい

災害大国「日本」

日本の四季は、素晴らしい移り変わりを見せますが、時として自然は、私たちに猛威を振ります。台風や集中豪雨、地震など、私たちの住むこの日本は、自然災害が多い国です。

一昔前の災害と比べ、近年の災害は大型化しており、その状況は大きく変化しています。4年前、太宰府市や飯塚市、そして桂川町などに大被害をもたらした集中豪雨は、まさに晴天の霹靂^{へきれき}でした。この地に暮らす限り、自然と共生することになります。だからこそ、防災対策は、私たちの生活の一部なのかもしれません。

突然の災害に備えて

財産や人命を一瞬で奪う災害は、何の前触れもなく突然、私たちを襲ってきます。

災害が起きそうなとき、じつと待っていると、対応が後手になってしまいます。ご近所との

電話での情報交換やテレビ・ラジオなどから、いち早く災害情報を引き出すことが大切です。そして、早めの対処・避難を心がけましょう。

すぐに避難するために

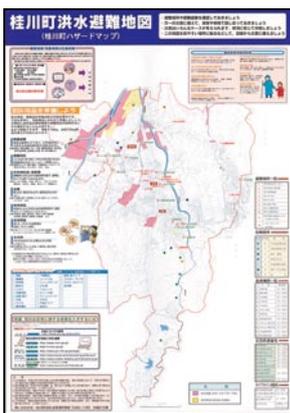
災害が目前に迫っていると、皆さんはどこへ避難しますか。そして、何を持っていくべきか。急な事態に気が動転した状態では、十分な防災用品を準備するのに時間がかかります。すぐに避難できるように、日ごろから非常時の持ち出し品の準備や避難場所の確認などを行いましょう。

避難の種類と避難場所

桂川町では、「自主避難」の場合、桂川町住民センターを開放しています。

しかし、消防団や役場職員から広報車両を通じて「避難勧告」や「避難指示」が出された場合は、次の9つの避難場所が開放されます。ご注意ください。

- ① 桂川町総合体育館
- ② 桂川町隣保館
- ③ 桂川中学校
- ④ 桂川小学校
- ⑤ 桂川東小学校
- ⑥ 町立土師保育所
- ⑦ 町立吉隈保育所
- ⑧ 桂川町総合福祉センター
- ⑨ いきいきセンター「桂寿苑」



桂川町洪水避難地図

昨年、各世帯に配布されたこの地図には、風水害時の避難場所や非常時の持ち出し品などが記載されています。

もう一度、この地図を見ながら、防災に向けての意識を高めてみてはいかがでしょうか。

問合先 総務課（庶務係）
☎65・1100